E771Z568H74

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

○この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、据付工事前・ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
○お客さまご自身では据付けないでください（安全や機能の確保ができません）。
○この製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱 LED 照明器具

防雨・防湿形

LED ライトユニット形ベースライト Myシリーズ 40形

[段調光形（100%,70%)]

取扱説明書・据付工事説明書

■販売店・工事店さまへ：この説明書は保守のため、お客さまに必ずお渡しください。
■お客さまへ：説明書をお読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。

ライトユニットタイプ	ライトユニット形名	質量
6900lm 一般タイプ	EL-LUW47053（N,W,L）AHTN	約1.2kg
5200lm 一般タイプ	EL-LUW45053（N,W,L）AHTN	約1.2kg
4000lm 一般タイプ	EL-LUW44053（N,W,L）AHTN	約1.2kg
3200lm 一般タイプ	EL-LUW43053（N,W,L）AHTN	約1.2kg
2500lm 一般タイプ	EL-LUW42553（N,W,L）AHTN	約1.2kg
2000lm 一般タイプ	EL-LUW42053（N,W,L）AHTN	約1.2kg

・ライトユニット形名の（ ）内は光色を示します。

N：昼白色（5000K）
W：白　色（4000K）
L：電球色（3000K）

	適合本体	器具本体形名	質量
直付形	逆富士タイプ 150幅	EL-LHWV41510	約1.4kg
	逆富士タイプ 230幅	EL-LHWV42310	約1.6kg
	トラフタイプ	EL-LHWL40710	約0.8kg
	笠付タイプ	EL-LHWH41510	約1.1kg
	片反射笠付タイプ	EL-LHWN40810	約1.5kg

・表の器具本体と組合せてご使用の場合は、本説明書の取付方法を参照ください。
・上表以外の器具本体の取付方法は、本体に同梱の説明書を参照ください。

安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

禁止

指示を守る

⚠警告

- **配線工事、器具取付の際は必ず電源を切る**（火災・感電の原因）
- **補強のない天井には取付けない**（火災・落下の原因）
- **器具を密集して取付けない〔200mm以上離す〕**（器具の温度が高くなり火災の原因）
- **器具取付けの際は電線を挟まない**（絶縁不良により、火災・感電の原因）
- **配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない**（絶縁破壊により、火災・感電の原因）
- **引火する危険のある雰囲気〔ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所〕では使用しない**（火災の原因）
- **高温〔35℃を超える〕、機械工場などの油煙のある場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所、振動・衝撃のある場所、浴室やプール、常時風の当たる場所、風速60m/sを超える強風の吹くおそれのある場所では使用しない**（火災・感電・落下の原因）
- **天井・傾斜天井・壁面〔縦・横〕直付兼用、防雨・防湿形器具です。トラフ・笠付タイプは吊下げ兼用です**（指定方向以外の取付けは、火災・落下の原因）
- **狭い箱のような中では使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない**（器具が過熱して火災の原因）
- **器具を布や紙などで覆わない**（可燃物を被せて使用すると火災の原因）
- **器具の改造や指定部品以外の交換はしない**（火災・感電・落下の原因）
- **器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない**（火災・感電の原因）
- **ライトユニットは精密機器のため、取付け・取外しの際は、ひねったり衝撃を与えない**（感電・落下の原因）

- **施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、据付工事説明書に従い行う**（施工不備により、火災・感電・落下の原因）
- **必ず当社の専用器具本体とライトユニットとの組合せで使用する**（火災・感電・落下の原因）
- **レースウェイに取付ける場合、器具は建築設備耐震設計・施工指針に基づき施工されたレースウェイに取付ける**（落下の原因）

⚠注意

- **器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない**（過熱して火災の原因）
- **光を直視しない**（長時間直視すると目を痛める原因）
- **納入仕様書の指定箇所・指定方向以外には取付けない**（火災・落下の原因）
- **器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない**（絶縁不良やさびにより、感電・落下の原因）
- **軒下など雨の吹き込むおそれのある場所〔雨線内〕で使用できますが、屋外や風の強い場所では使用しない。また、背面より水がかかる場所には取付けない**（火災・感電・落下の原因）
- **直射日光の当たる場所では使用しない**（劣化による落下の原因）
- **表示された電源電圧以外では使用しない**（火災・感電の原因）
  定格電圧の90%以下での使用は、電源ユニットの耐用年限が短くなったり、故障の原因となります。

⚠注意

●**明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検、3年に1回は工事店等の専門家による点検を行う**（点検不備により、火災・感電・落下の原因）

・照明器具には耐用年限があります。設置して8～10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行していますので、点検・交換をおすすめします。LED光源は光束維持時間に達しても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

・防水を目的に使用しているゴムパッキンは使用環境によって劣化が早まり、防水性能が低下する場合がありますので、定期的な点検をお受けください。

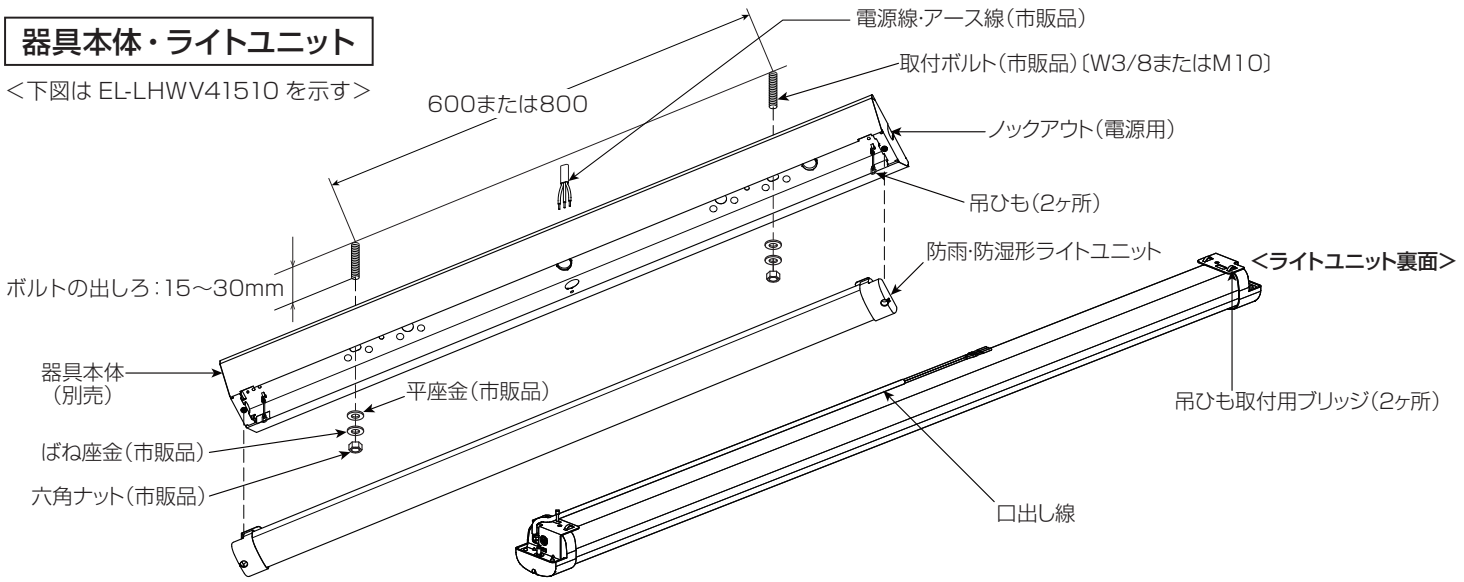
施工者様へ

以下の各部のなまえ・取付方法等をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

各部のなまえ

器具本体・ライトユニット

＜下図は EL-LHWV41510 を示す＞



据付場所の選定

- 天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな場所
- 温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生しない場所
- 一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在しない場所
- その他納入仕様書に記載された事項が守られた場所

取付方法

⚠警告

施工は、据付工事説明書に従い確実に行い、ライトユニットの取付け・取外しの際は、必ず電源を切る（火災・感電・落下の原因）

1 取付前の確認

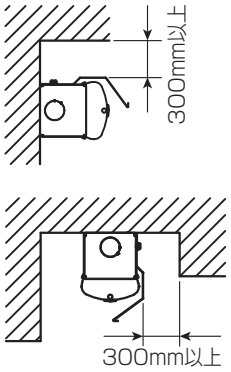
(1) 器具本体質量、ライトユニット質量、オプション（ガード等）質量の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

・オプションの質量は、適合品の納入仕様書を参照ください。

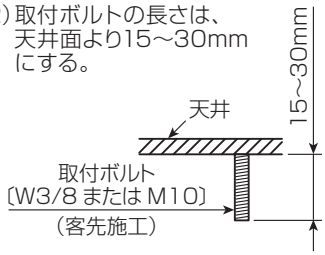
・取付ボルトを使用の場合は、W3/8またはM10を使用する。

・取付面に対し、取付ボルトが垂直であることを確認する。

＜片反射笠付タイプ器具本体の場合＞
反射がさ取付用ねじ操作のため、ねじ側は300mm以上余裕を設けてください。



(2) 取付ボルトの長さは、天井面より15～30mmにする。



⚠警告

・**器具の取付けは質量に耐える所に取付ける**（落下の原因）

・**取付ボルトは所定の長さで施工する**（ライトユニットとの隙間・落下の原因）

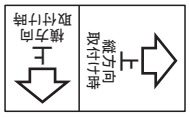
2 器具本体を取付ける

(1) 器具本体のブッシュ付電源用穴に電源線、アース線を引き込む。

(2) 別途手配の耐食性のある、平座金・ばね座金・六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。
六角ナットの締付トルクは1.0～1.2 N·m。

・ガードを使用する場合は、外径 25mm 以上の平座金を使用する。

＜壁面取付の場合＞
取付方向を示すラベルの向きに合わせて取付ける。



⚠警告

確実に取付けて固定する（火災・感電・落下の原因）

⚠注意

器具の取付け・取外し・清掃時は手袋などの保護具を使用する（けがの原因）

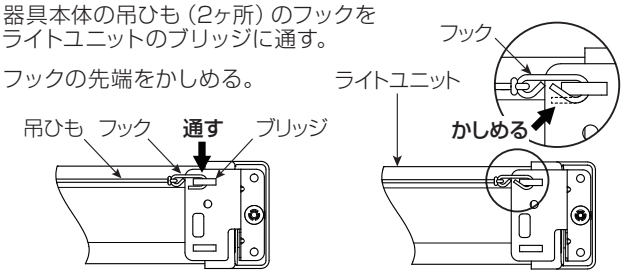
お願い

締付トルク値を守ってください。（器具変形・天井面とのすき間の原因）

3 ライトユニットを器具本体に仮止めする

(1) 器具本体の吊ひも（2ヶ所）のフックをライトユニットのブリッジに通す。

(2) フックの先端をかしめる。

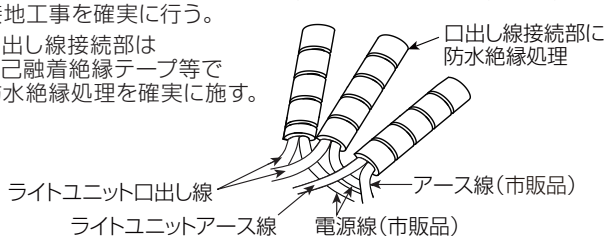


＜壁面取付の場合＞
器具本体のラベルとライトユニットのラベルに表示された口出し線側の向きが一致していることを確認する。

4 ライトユニットの口出し線に、電源線・アース線を接続する

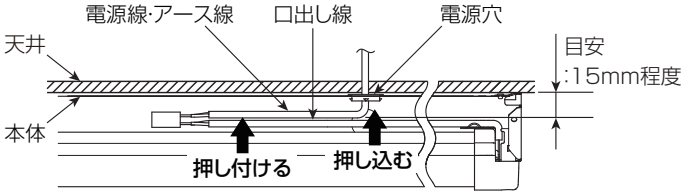
・口出し線長さ　　：器具外 0.15m以上
・口出し線の線種　：105℃耐熱ビニル電線
・電源入力線の線径：より線 0.75mm²
・アース線の線径　：より線 1.25mm²
・中央電源穴より、電源線・アースを引き込み、器具内で接続する場合は、余裕をもった引込み長さ（300㎜以上）とする。

(1) 電気設備の技術基準省令第7条に従い、電源線に口出し線の黒白線を圧着端子、スリーブを用いて確実に接続する。
(2) アース線（黄色と緑のスパイラル）を使用して、D種（第3種）接地工事を確実に行う。
(3) 口出し線接続部は自己融着絶縁テープ等で防水絶縁処理を確実に施す。



・自己融着絶縁テープ等で口出し線接続部を防水絶縁処理した後に、防水のため防水絶縁処理した先端を上（天井側）に向ける。

(4) 器具内で接続する場合は、接続後、余分な電源線・アース線をライトユニットの当たりを防ぐため電源穴に押し込み、本体側にも押し付ける。<下図はライトユニット取付け状態を示す>



⚠警告

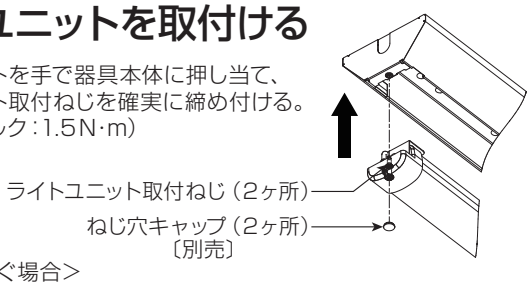
・**接続を確実に行う**
（不完全な場合、接続不良による発熱により火災の原因）
・**D種〔第3種〕接地工事は電気設備の技術基準に従って行い、漏電遮断器を確実に設置する**（故障·漏電の時に、火災·感電の原因）
・**確実に接続部の防水処理をする**
（不完全な場合、絶縁不良による漏電·感電の原因）

お願い

・器具長手面のノックアウトを使用する場合、電線管の引き込み長さは器具内側から 5mm 以下となります。器具外側にロックナット等を付け、引き込み長さを調整してください。

5 ライトユニットを取付ける

(1) ライトユニットを手で器具本体に押し当て、ライトユニット取付ねじを確実に締め付ける。
（推奨締付トルク：1.5N·m）



<ねじ穴をふさぐ場合>
別売のねじ穴キャップ（EL-XF001）を取付ける。

⚠警告

電源線·口出し線を挟み込まない（火災・感電の原因）

⚠注意

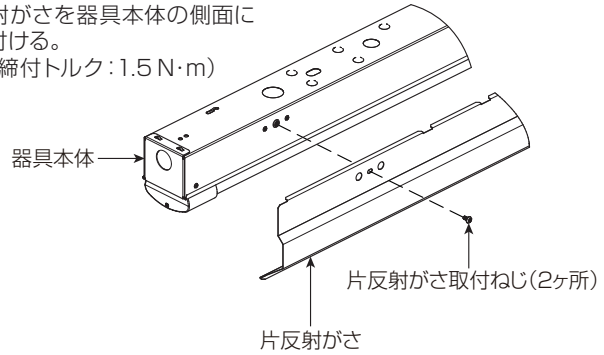
・**器具本体とライトユニットの間に吊ひもを挟まない**（落下の原因）
・**器具本体にライトユニットが確実に取付けられていることを確認する**（落下の原因）

お願い

・締付トルク値を守ってください。（ねじ取付部が破損する原因）
・ライトユニット取付ねじを増し締めしないでください。
（ねじ取付部が破損する原因）
・ねじ穴キャップが外れ落下し、不具合が生じるような場所〔食品工場等〕に取付けたライトユニットには、ねじ穴キャップを取付けないでください。

6 片反射がさを取付ける
（片反射笠付タイプ器具本体の場合）

(1) 付属の片反射がさ取付ねじを用いて、片反射がさを器具本体の側面に取り付ける。
（推奨締付トルク：1.5 N·m）



⚠注意

器具本体に片反射がさが確実に取付けられていることを確認する（落下の原因）

7 ライトユニットの取外し方

(1) ライトユニットを手で添えながら、ライトユニット取付ねじ（2ヶ所）をゆるめて、器具本体より取外す。

(2) 吊ひもを外し、ライトユニットを取外す。

⚠注意

点灯中及び消灯直後の器具本体・ライトユニットに触らない
（高温のため、やけどの原因）

お願い

・ライトユニットを器具本体方向に押さえつけながらライトユニット取付ねじを緩めないでください。
（ワッシャーが外れてライトユニット取付ねじが落下する原因）

据付工事後の確認

•据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください（機能が発揮できないばかりか、安全性を確保できません）。

チェック内容	チェック欄
器具本体とライトユニットが確実に取付いていますか。	
ライトユニット取付ねじが確実に締め付けられていますか。	
電源線·アース線を口出し線に確実に接続していますか。	
口出し線接続部及びシース（外被）部に防水絶縁処理をしていますか。	
ライトユニットにキズ等ありませんか。	

試運転

•お客様立ち会いで試運転を行ってください。
スイッチ ON,OFF などの運転手順、安全を確保するための正しい使い方についてお客様に説明してください。

お客様への説明

•取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
特に「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。

•物件などで使用者が不在の場合は、発注者（オーナー・ゼネコン）や管理人などに説明してください。

お客様へ

以下の使用方法・お願い等をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。

⚠警告

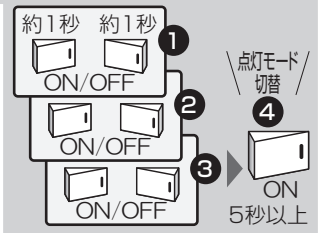
お客様自身で電気工事をしない（火災・感電の原因）
電気工事士の資格が必要です。

点灯モードの切替

●点灯モード（定格・節電モード）の切替

・出荷時は定格モードに設定されています。
・消灯しても消灯前の点灯モードを記憶しています。

壁スイッチ操作　ON/OFF を繰り返し4回目のONで切り替わる



・定格モード切替
約5秒の間に明るさが1回明滅します。

・節電モード切替（明るさ 約70%）
約5秒の間に明るさが2回明滅します。

※後付オプション取付時は点灯モードの切替はできません。

●点灯モードのリセット操作（定格モードにリセット）

・器具間の点灯モードが揃わない場合、壁スイッチ操作により点灯モードのリセットを実施してください。

壁スイッチ操作
ON/OFF を繰り返し5回目のONで完了

・明るさが1回明滅すればリセット完了となり、定格モードになります。

お願い

・周囲温度は、－10～35℃以内で使用してください。ただし、低温用ライトユニットと組合せる場合は、－25～35℃の範囲で使用してください。
・器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せると、ちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。リレー接点式人感センサスイッチを使用してください。
・防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
・電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200 V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する原因となります。
・LED光源の交換はできません。交換の際はライトユニットごと交換してください。
・器具に吹き出し口の冷風が直接当たらないように設置してください。やむなく設置する場合は、器具より少し離してフードを設けてください。
・周囲温度を変更する場合は予め 3 時間以上点灯させた状態で行ってください。結露により不点の原因となります。

お知らせ

・LED 素子にはバラツキがあるため、器具内の個々の LED や同一形名の器具でも、発光色・明るさが異なる場合があります。
・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
・周囲環境・温度・湿度によってライトユニット内部に結露が発生する場合がありますが、この結露が品質に影響を与えることはありません。
・商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
・電源事情の悪い場所では、LED がちらつく場合があります。
・ライトユニットと器具本体との間に隙間を設けております。この隙間については製品仕様上、必要なものであり品質に問題ありません。
・バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
・誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

お手入れ

<器具>

・器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<ライトユニット>

・ライトユニットはキズがつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

故障かな?と思ったら

Q ”ピシッピシッ”という音がする。
A 温度変化で部品などが膨張・収縮してこすれる音です。

Q テレビ・ラジオ・マイクなどが誤作動する。雑音が入る。
A 照明器具から離してご使用ください。赤外線リモコン式の機器や無線機器は雑音が入り正常に動かない場合があります。

保証とアフターサービス

・無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。

・無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

※保証とアフターサービスは、器具本体とライトユニットに適用されます。保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

■ 仕様 ■

	定格	定格電圧	入力電流（A）			消費電力（W）			段調光（70%）消費電力（W）		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
6900lm 一般タイプ	AHTN	AC100 ー 242V	0.452	0.222	0.186	44.1	43.0	43.0	29.8	29.3	29.3
5200lm 一般タイプ	AHTN	AC100 ー 242V	0.339	0.168	0.140	33.2	32.5	32.5	22.7	22.4	22.4
4000lm 一般タイプ	AHTN	AC100 ー 242V	0.258	0.129	0.108	25.1	24.9	24.9	17.3	17.2	17.2
3200lm 一般タイプ	AHTN	AC100 ー 242V	0.217	0.109	0.092	21.4	21.0	21.3	14.7	14.6	14.8
2500lm 一般タイプ	AHTN	AC100 ー 242V	0.172	0.087	0.074	16.9	16.7	17.0	11.8	11.8	12.0
2000lm 一般タイプ	AHTN	AC100 ー 242V	0.143	0.073	0.061	13.7	13.6	13.6	9.8	9.7	9.7

・電源周波数50Hz/60Hz共用形です。　・組合せの特性及び組合せ形名については、各組合せ形名納入仕様書及びカタログを参照ください。

異常時の処置

⚠警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先に相談してください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、まず お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル 0120-348-027（無料）
受付時間 9時～17時（土・日・祝日は除く）
FAX (0467) 46−8861

E771Z639H22

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

○この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、据付工事前・ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
○お客さまご自身では据付けないでください（安全や機能の確保ができません）。
○この製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱 LED 照明器具　防雨・防湿形

LED ライトユニット形ベースライト Myシリーズ 40形

取扱説明書・据付工事説明書

■販売店・工事店さまへ：この説明書は保守のため、お客さまに必ずお渡しください。
■お客さまへ：説明書をお読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。

器具タイプ	器具形名	質量
190 幅　埋込形	EL-LH-WB41910	約2.8kg
300 幅　埋込形	EL-LH-WB43010	約3.5kg

安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

🛇	禁止
❗	指示を守る

⚠警告

●**配線工事、器具取付の際は必ず電源を切る**（火災・感電の原因）
●**補強のない天井には取付けない**（火災・落下の原因）
●**器具取付けの際は電線を挟まない**（絶縁不良により、火災・感電の原因）

🛇
●**電源線を器具の外郭に直接触れさせない**（過熱して火災の原因）
●**器具の外郭を天井内の造営材・ダクトに触れさせない**（火災・感電の原因）
●**配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない**（絶縁破壊により、火災・感電の原因）
●**引火する危険のある雰囲気〔ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所〕では使用しない**（火災の原因）
●**高温（35℃を超える）、機械工場などの油煙のある場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所、振動・衝撃のある場所、浴室やプール、常時風の当たる場所、風速60m/sを超える強風の吹くおそれのある場所では使用しない**（火災・感電・落下の原因）
●**天井埋込専用、防雨・防湿形器具です**（指定方向以外の取付けは、火災・落下の原因）
●**狭い箱のような中では使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない**（器具が過熱して火災の原因）
●**器具を布や紙などで覆わない**（可燃物を被せて使用すると火災の原因）
●**器具の改造や指定部品以外の交換はしない**（火災・感電・落下の原因）
●**器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない**（火災・感電の原因）
●**ライトユニットは精密機器のため、取付け・取外しの際は、ひねったり衝撃を与えない**（感電・落下の原因）

❗
●**施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、据付工事説明書に従い行う**（施工不備により、火災・感電・落下の原因）
●**必ず当社の専用器具本体とライトユニットとの組合せで使用する**（火災・感電・落下の原因）

⚠注意

●**器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない**（過熱して火災の原因）
●**光を直視しない**（長時間直視すると目を痛める原因）
●**納入仕様書の指定箇所・指定方向以外には取付けない**（火災・落下の原因）

🛇
●**器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない**（絶縁不良やさびにより、感電・落下の原因）
●**軒下など雨の吹き込むおそれのある場所〔雨線内〕で使用できますが、屋外や風の強い場所では使用しない。また、背面より水がかかる場所には取付けない**（火災・感電・落下の原因）
●**直射日光の当たる場所では使用しない**（劣化による落下の原因）
●**表示された電源電圧以外では使用しない**（火災・感電の原因）
定格電圧の90%以下での使用は、電源ユニットの耐用年限が短くなったり、故障の原因となります。

❗
●**明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検、3年に1回は工事店等の専門家による点検を行う**（点検不備により、火災・感電・落下の原因）
・照明器具には耐用年限があります。設置して8～10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行していますので、点検・交換をおすすめします。LED光源は光束維持時間に達しても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

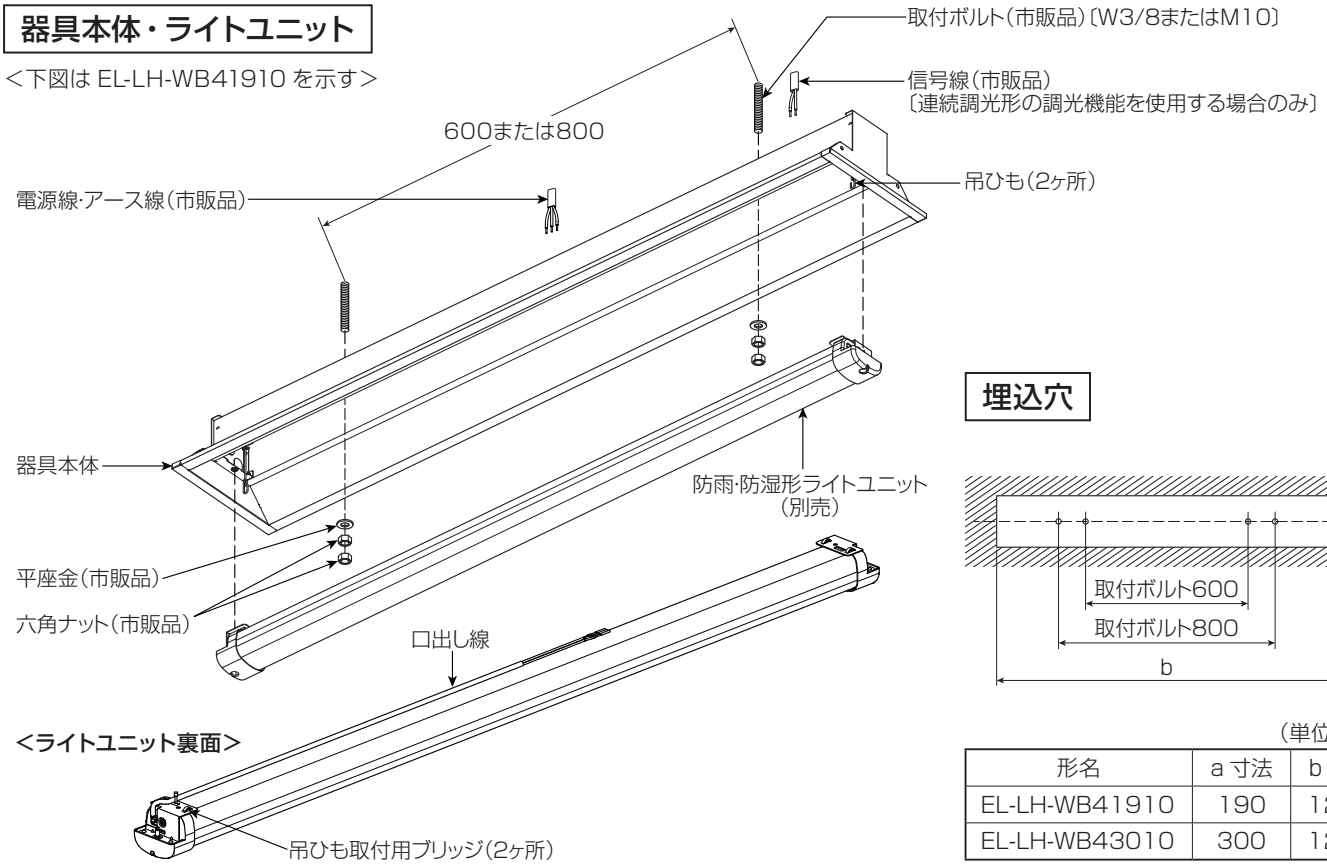
施工者様へ

以下の各部のなまえ･取付方法等をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

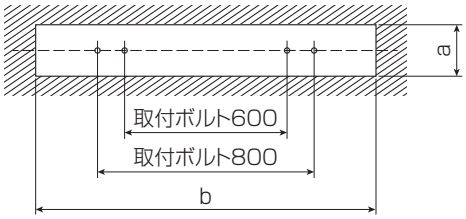
各部のなまえ

器具本体・ライトユニット

＜下図は EL-LH-WB41910 を示す＞



埋込穴



（単位 mm）

形名	a 寸法	b 寸法
EL-LH-WB41910	190	1257
EL-LH-WB43010	300	1257

据付場所の選定

- 天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな場所
- 温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生しない場所
- 一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在しない場所
- その他納入仕様書に記載された事項が守られた場所

取付方法

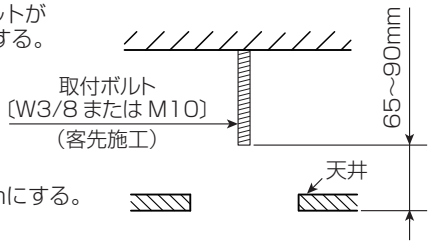
⚠警告

施工は、据付工事説明書に従い確実に行い、ライトユニットの取付け･取外しの際は、必ず電源を切る（火災・感電・落下の原因）

1 取付前の確認

(1) 器具本体質量、ライトユニット質量の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

- 取付ボルトを使用の場合は、W3/8またはM10を使用する。
- 取付面に対し、取付ボルトが垂直であることを確認する。



(2) 取付ボルトの長さは、天井面より65～90mmにする。

⚠警告

- **器具の取付けは質量に耐える所に取付ける**（落下の原因）
- **取付ボルトは所定の長さで施工する**（ライトユニットとの隙間･落下の原因）

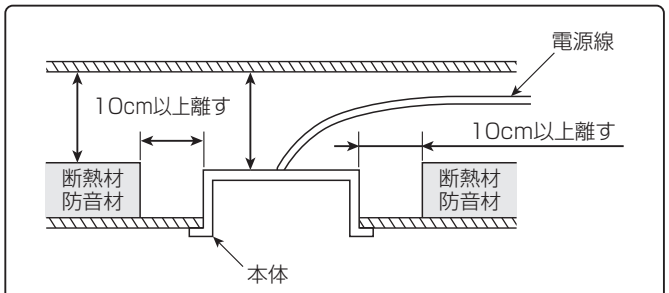
2 天井に埋込穴をあける

(1) 埋込穴、取付ボルトを前記のように設ける。

(2) 断熱材･防音材をご使用の場合は、下図の取付条件をお守りください。

⚠警告

断熱施工天井に取付けない
（火災の原因）



※電源線は、断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。

3 器具本体を取付ける

(1) 器具本体のブッシュ付電源用穴に電源線、アース線を引き込む。

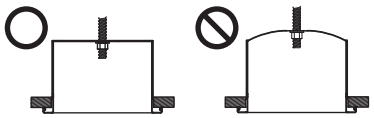
⚠警告
確実に取付けて固定する
(火災・感電・落下の原因)

⚠注意
器具の取付け・取外し・清掃時は手袋などの保護具を使用する
(けがの原因)

(2) 別途手配の耐食性のある、平座金·六角ナットを用いて、ダブルナットにて本体を確実に固定する。
六角ナットの締付トルクは0.5〜0.7N·m。

お願い
締付トルク値を守ってください。(器具変形・天井面とのすき間の原因)

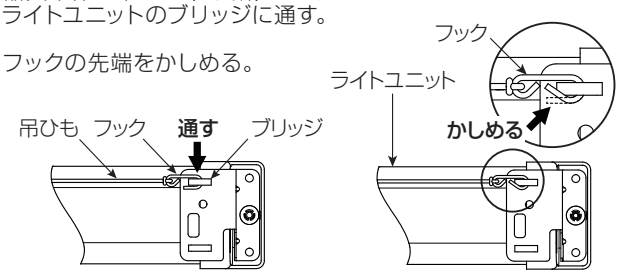
締付トルクが過ぎると、器具変形、天井面とのすき間の原因となります。



4 ライトユニットを器具本体に仮止めする

(1) 器具本体の吊ひも(2ヶ所)のフックをライトユニットのブリッジに通す。

(2) フックの先端をかしめる。



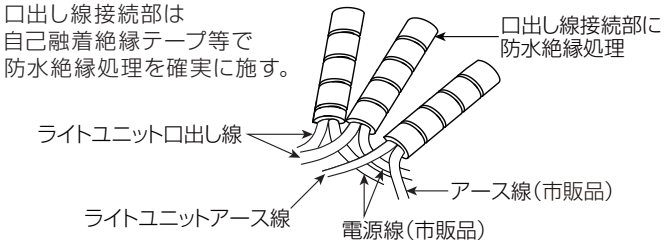
5 ライトユニットの口出し線に、電源線・アース線を接続する

- 口出し線長さ　:器具外 0.15m以上
- 口出し線の線種　:105℃耐熱ビニル電線
- 電源入力線の線径:より線 0.75mm²
- アース線の線径　:より線 1.25mm²
- 中央電源穴より、電源線·アースを引き込み、器具内で接続する場合は、余裕をもった引込み長さ(300㎜以上)とする。

(1) 電気設備の技術基準省令第7条に従い、電源線に口出し線の黒白線を圧着端子、スリーブを用いて確実に接続する。

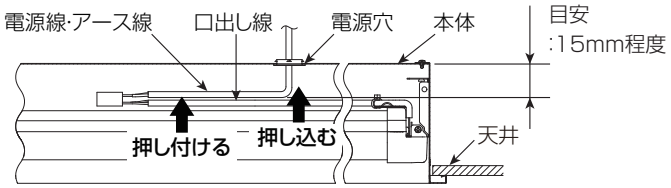
(2) アース線(黄色と緑のスパイラル)を使用して、D種(第3種)接地工事を確実に行う。

(3) 口出し線接続部は自己融着絶縁テープ等で防水絶縁処理を確実に施す。



- 自己融着絶縁テープ等で口出し線接続部を防水絶縁処理した後に、防水のため防水絶縁処理した先端を上(天井側)に向ける。

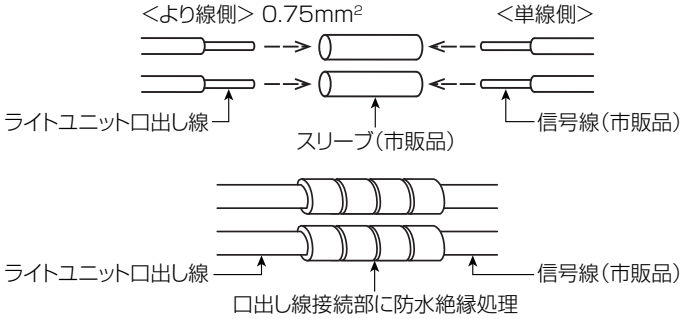
(4) 器具内で接続する場合は、接続後、余分な電源線·アース線をライトユニットの当たりを防ぐため電源穴に押し込み、本体側にも押し付ける。<下図はライトユニット取付け状態を示す>



(5) 電気設備の技術基準省令第7条に従い、圧着端子·スリーブを用いて、信号線に口出し線の調光線を確実に接続する(連続調光形の調光機能を使用する場合のみ)。

- 推奨信号線
  φ0.9mm FCPEV 単線
  または φ1.2mm FCPEV 単線
- 調光信号が入力されていると、初期照度補正は解除されますが、連続点灯時間はカウントし続けます。

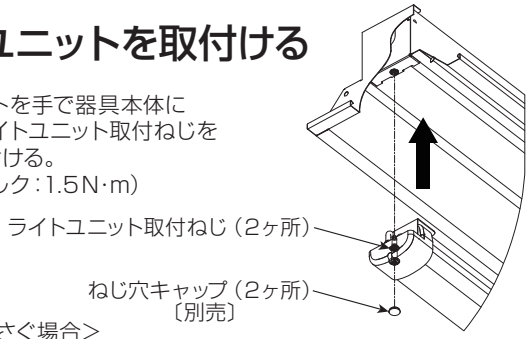
⚠注意
スリーブは適合した電線抱合範囲内で使用すること
(電線抜け・電線外れの原因)



⚠警告
- **接続を確実に行う**
  (不完全な場合、接続不良による発熱により火災の原因)
- **D種〔第3種〕接地工事は電気設備の技術基準に従って行い、漏電遮断器を確実に設置する**(故障·漏電の時に、火災·感電の原因)
- **確実に接続部の防水処理をする**
  (不完全な場合、絶縁不良による漏電·感電の原因)

6 ライトユニットを取付ける

(1) ライトユニットを手で器具本体に押当て、ライトユニット取付ねじを確実に締め付ける。
(推奨締付トルク:1.5N·m)



<ねじ穴をふさぐ場合>
別売のねじ穴キャップ(EL-XF001)を取付ける

⚠警告
電源線·口出し線を挟み込まない(感電・火災の原因)

⚠注意
- **器具本体とライトユニットの間に吊ひもを挟まない**(落下の原因)
- **器具本体にライトユニットが確実に取付けられていることを確認する**(落下の原因)

お願い
- 締付トルク値を守ってください。(ねじ取付部が破損する原因)
- ライトユニット取付ねじを増し締めしないでください。(ねじ取付部が破損する原因)
- ねじ穴キャップが外れ落下し、不具合が生じるような場所〔食品工場等〕に取付けたライトユニットには、ねじ穴キャップを取付けないでください。

7 ライトユニットの取外し方

(1) ライトユニットを手で添えながら、ライトユニット取付ねじ(2ヶ所)をゆるめて、器具本体より取外す。

(2) 吊ひもを外し、ライトユニットを取外す。

⚠注意
点灯中及び消灯直後の器具本体·ライトユニットに触らない
(高温のためやけどの原因)

お願い
- ライトユニットを器具本体方向に押さえつけながらライトユニット取付ねじを緩めないでください。
(ワッシャーが外れてライトユニット取付ねじが落下する原因)

据付工事後の確認

•据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください（機能が発揮できないばかりか、安全性を確保できません）。

チェック内容	チェック欄
器具本体とライトユニットが確実に取付いていますか。	
ライトユニット取付ねじが確実に締め付けられていますか。	
電源線・アース線を口出し線に確実に接続していますか。	
口出し線接続部及びシース（外被）部に防水絶縁処理をしていますか。	
ライトユニットにキズ等ありませんか。	

試運転

•お客様立ち会いで試運転を行ってください。
スイッチ ON,OFF などの運転手順、安全を確保するための正しい使い方についてお客様に説明してください。

お客様への説明

•取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
特に「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
•物件などで使用者が不在の場合は、発注者（オーナー・ゼネコン）や管理人などに説明してください。

お客様へ

以下の使用方法・お願い等をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。

⚠警告

お客様自身で電気工事をしない（火災・感電の原因）
電気工事士の資格が必要です。

お願い

・周囲温度は、－10～35℃以内で使用してください。
・器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せると、ちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。リレー接点式人感センサスイッチを使用してください。
・防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
・電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200 V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する原因となります。
・LED光源の交換はできません。交換の際はライトユニットごと交換してください。
・器具に吹き出し口の冷風が直接当たらないように設置してください。やむなく設置する場合は、器具より少し離してフードを設けてください。
・周囲温度を変更する場合は予め 3 時間以上点灯させた状態で行ってください。結露により不点の原因となります。

お知らせ

・LED 素子にはバラツキがあるため、器具内の個々の LED や同一形名の器具でも、発光色・明るさが異なる場合があります。
・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
・周囲環境・温度・湿度によってライトユニット内部に結露が発生する場合がありますが、この結露が品質に影響を与えることはありません。
・商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
・電源事情の悪い場所では、LED がちらつく場合があります。
・ライトユニットと器具本体との間に隙間を設けております。この隙間については製品仕様上、必要なものであり品質に問題ありません。
・バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
・誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

お手入れ

<器具>

・器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<ライトユニット>

・ライトユニットはキズがつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

故障かな?と思ったら

Q ”ピシッピシッ”という音がする。
A 温度変化で部品などが膨張・収縮してこすれる音です。

Q テレビ・ラジオ・マイクなどが誤作動する。雑音が入る。
A 照明器具から離してご使用ください。赤外線リモコン式の機器や無線機器は雑音が入り正常に動かない場合があります。

保証とアフターサービス

•無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。

•無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

※保証とアフターサービスは、器具本体とライトユニットに適用されます。保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

異常時の処置

⚠警告 **煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る**（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先に相談してください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、まず お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル 0120-348-027（無料）
受付時間 9時～17時（土・日・祝日は除く）
FAX (0467) 46−8861